

ママの子育て応援します！ 親子のひろば

教えて歯医者さん！

歯の生えかわりについて！

はは歯クラブ
無料歯みがき指導・相談
2/7・17 (要予約)
問) ゆきなり小児・矯正歯科

乳歯は時期になれば自然と抜け、永久歯がすぐに生えてくると考えていませんか。しかし、何らかの理由でうまく抜けなかった場合には抜いてあげる必要があります。あごの骨の中で育っている永久歯の生えようとする方向が悪い場合には、乳歯の根が長く残ることが多く自然には抜けません。また乳歯の根があごの骨に張り付いている場合もあります。そういう場合も時期を見て乳歯を抜いてあげる必要があります。そのままにしておくと永久歯の歯並びが悪くなったり、かみ合わせが悪くなります。

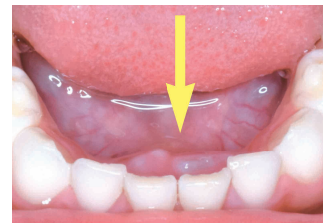


院長 行成哲弘

【資格、学会】
・日本小児歯科学会認定
小児歯科専門医

日本矯正歯科学会、
全国小児歯科開業医会、
日本歯科医師会

下の前歯、永久歯が生えてくる方向が悪く、乳歯の裏の方に生えようとしています。歯の生え代わりは下の前歯から始まるのがほとんどです。早いお子さんで5歳くらいから始まります。



レントゲン写真でも乳歯の根が永久歯と重なっているのがわかります。永久歯の萌出^{ほうしゅつ}方向が悪いために乳歯の根が十分に溶けていません。永久歯が乳歯の真下から生えようとしている場合では、この時期では乳歯の根は溶けてしまっており、グラグラしているはずで、このような場合、永久歯を正常な位置に戻すため、乳歯を抜く必要があります。永久歯の萌出のじゃまをしていた乳歯を抜いたことによって永久歯がだんだんと前（正常な位置）に動きます。下の前歯ではよくこの様なことが起こりがちです。乳歯を適切な時期に抜歯する事により歯並びが悪くなることを防ぐことができます。



ゆきなり小児・矯正歯科

【小児歯科診療、矯正歯科診療、
予防、歯育て健診】

長崎市葉山2-5-26
TEL: 095-857-8211



院内キッズスペース